

C05a 国立天文台における公開講座・一般公開事業の概要

渡部 潤一、縣 秀彦、福島 英雄ほか天文情報公開センター職員 (国立天文台)

国立天文台は全国の国立大学・国立天文台共同利用機関の中でも、社会に対する教育普及広報活動では群を抜いた成果を上げてきた。客観的にも平成 13 年度着手の大学評価全学テーマ「教育サービス面における社会貢献」でほぼ満点の評価を得ている。とりわけ社会教育事業については 1994 年の広報普及室創設当時から力を入れ、現在では下記のような多様な公開事業を実現させている。本講演では、この企画セッションにちなみ、国立天文台天文情報公開センターが中心になって進めている公開講座・一般公開に絞り、その概要を紹介する。主な事業については、それぞれの講演で詳細を紹介する。

- 施設公開 (三鷹・天文台歴史館他の常時公開、各地区の常時公開、年に一度の一般公開 < 特別公開 >)
- 一般向けおよびこども向け公開講座 (三鷹地区、年一回)
- 社会教育用公開望遠鏡を利用した定例観望会・ショートレクチャー (三鷹地区、月二回)
- 親子星空学級 (親子向け観望会・ショートレクチャー 年 4 回)
- 君が天文学者になる 4 日間 (高校生向け体験型講座、三鷹地区、年一回)
- 夏休み・こども天文相談室 (三鷹地区、平成 14 年度開始予定)
- 伝統的七夕ライトダウン・キャンペーンイベント (三鷹地区、平成 14 年度予定 : 「星と音楽と落語の夕べ」)